

第2節 私たちの生活と文化



2節の問い 私たちはどのように文化と関わっていけばよいのだろうか。



科学の進歩と文化

私たちの生活にロボットは欠かせないものになってきています。従来は、工場などで使われる工業用ロボットが主流でしたが、技術が進歩し、人型ロボットを接客に活用する場面が増えてきています。また、AIの発達によって、会話ができるコミュニケーションロボットの利用も進められています。

◀1 ロボットが調理や接客をするカフェ（東京都、2022年）

🗨️ 対話 🗨️ 科学のように、日常生活のなかで文化とを感じるものを挙げてみよう。

1 生活に息づく文化



学習課題

文化は私たちの生活にどのような影響をもたらすのだろうか。

私たちと文化

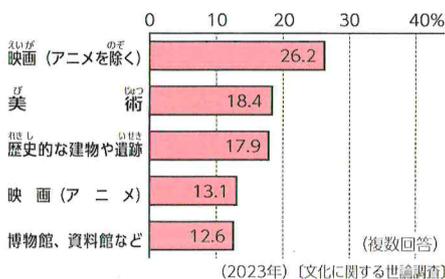
私たちは服を着て、食器を使って食事をし、道具を備えた家に住んでいます。言葉や身ぶり、顔の表情などで会話やあいさつをし、コミュニケーションをとっています。これら人間の生活に欠かせない「衣服」「食」「住まい」をはじめとする生活様式や、言語、科学、学問、芸術、宗教など、人々が形づくってきたものを文化とといいます。私たちは、家族、学校やクラス、クラブといったさまざまな集団のなかで生活をしています。それらの集団には、それぞれの考え方や物事の進め方などがあり、これらもその集団の文化といえます。

さまざまな文化

文化は、私たちの生活や人生をより豊かなものにしてくれます。例えば、かつては治らないと考えられていた病気を治せるようになったり、遠く離れている人とも気軽に話ができるようになったりしています。このように、従来は不可能だったことが科学の進歩によって可能になる場合があります。人間の思いや感情を表現し、他者に伝える創作活動が芸術です。その表現には、絵画や彫刻、文芸や音楽、演劇や舞踏、映画や写真、アニメーションやデザインなど、さまざまな方法があります。



↑2 東京 2020 オリンピック開会式で披露された歌舞伎（2021年）スポーツは私たちが心身共に健康で豊かな生活を送るうえで大切な文化です。「平和の祭典」ともいわれるオリンピックの開会式では、開催国の文化を紹介するパフォーマンスが行われることもあります。



↑3 一年間で鑑賞した文化芸術

外国では、私たちが当たり前に行っていることでも、その国の人たちにとっては、常識とみなされることもあります。外国に行く際には、思わぬトラブルに巻き込まれないためにも、その国の文化や習慣を理解しておくことが大切です。



①ご飯は何を使って食べる？
韓国では、ご飯はスプーンを使って食べます。また、食器を持ち上げて食べません。



②頭をなでたらいけない？
タイでは、頭は精霊の宿る神聖な場所とされているため、触てはいけないとされています。

私たちは、それらの表現者となって日常とは違ったかたちで思いを他者に伝えたり、鑑賞者となってそれらを感じとったりすることで、人間としての生活をより豊かなものにしていきます。

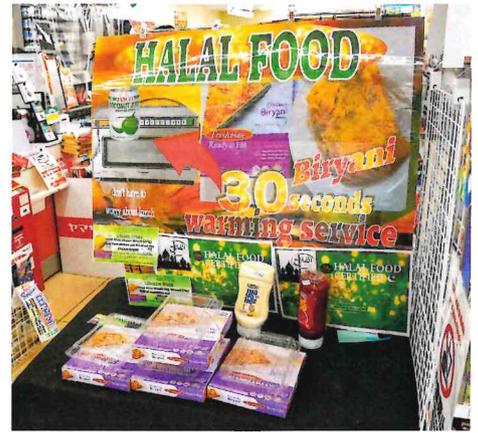
また、悩みや不安を抱えながら生きている私たちは、それらを解決しようとして、神や仏など人間の力を超えた存在を見だし、おそれ、敬うこともあります。神や仏などへの信仰を通じて、人間の考え方や生活習慣に大きな影響を与えているのが宗教です。

文化の多様性と
異文化理解

世界には多様で豊かな文化が存在しますが、そこに込められた人々の思いには共通するもの

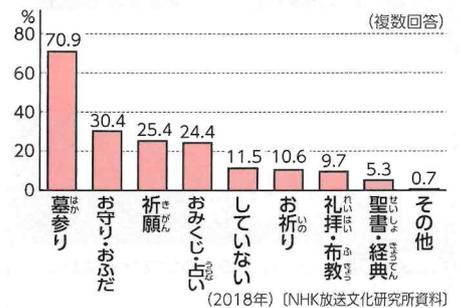
もあります。例えば、世界には農作物の収穫を祝う行事があります。そのやり方はさまざまでも、収穫への感謝と豊作への願いという思いは共通です。一方、グローバル化が進展し、世界中でファストフード形式の食文化が受け入れられるなど、文化が世界のどこでも同じようなものになっていく文化の画一化という現象も見られます。

それぞれの文化は対等です。自分の文化を基準にして他の文化を見下したり、否定や無視をしたりすることは争いの原因にもなります。互いに異なる文化を「その国や地域の独自の文化」として認め合い、尊重し合うことが大切です。互いの文化の価値を認め、複数の文化の共生を目指す異文化理解が求められています。



↑4 ハラルフードを扱うコンビニエンスストア(2021年) ハラルとは、イスラム教の教えで「許された」商品や活動のことです。

地図帳活用



↑5 宗教的行動で行っていること



↑6 ファストフード店(タイ) 世界に展開するチェーン店でも、メニューなどでその国らしさを出すこともあります。

✓ 文化とはどのようなものか、本文から書き出してみよう。

💬 異文化理解が求められる理由について、文化と私たちの生活との関わりを明らかにしたうえで、説明してみよう。



初詣
東京都台東区



七夕
宮城県仙台市



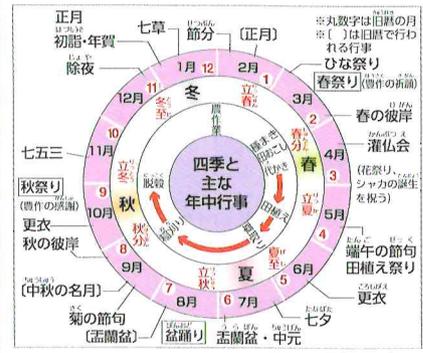
節分
東京都台東区



七五三
愛媛県今治市

年中行事

毎年同じ時期に行われる伝統的な行事を年中行事といいます。日本の年中行事の多くは農作業と深く関わっています。

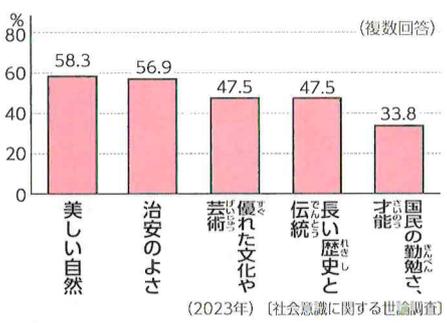


↑ 1 日本の主な年中行事 **小池 隆**

対話 経験したことがある年中行事を挙げてみよう。

2 日本の文化とその継承

2節の問い 私たちはどのように文化と関わっていけばよいのだろうか。



↑ 2 日本の誇り



↑ 3 エイサーを踊る人たち(沖縄県沖縄市、2017年) エイサーは沖縄の伝統的な踊りです。地域によってさまざまな型があります。



学習課題

日本の文化はどのような特色があるのだろうか。

日本の文化の特色

日本は、国土の大部分が温帯や亜寒帯(冷帯)に属し、鮮やかな四季の移り変わりが見られます。そのなかで、自然への豊かな感受性が育まれてきました。

例えば、日本の昔話や童謡、さらには映画やアニメーションには、美しい山や川、そこに見られる動植物、田畑、かやぶき屋根の農家など、自然と人間の生活とが調和した光景が描かれています。また、中国から伝わった稲作は、季節や気候の変化に合わせて、たくさんの水を適切に管理しながら使うことが必要なため、水を蓄える山林などの自然と調和していくことが大切です。このような、自然と人間の調和や均衡を考えた生活様式は、日本の文化の特色の一つです。

海外から来た文化をうまく取り入れ、それまでの日本文化と調和させながら発展してきたことも日本の文化の特色だといわれています。中国に由来する漢字をもとにつくられたひらがなやかたかな、外国の料理をもとにつくられたカツ丼などはその一例です。宗教についても、外国の宗教がそれまでの日本の宗教と交わりながら根づき、お盆のように生活習慣や年中行事などにも取り入れられています。

また、日本には、沖縄や奄美群島の人々が受け継いでいる琉球文

大鹿村には、江戸時代から各集落の神社の舞台で演じられ、現在まで受け継がれている地域の伝統芸能「大鹿歌舞伎」があります。

少子高齢化・過疎化が進むなかで、後継者を育てたいという地域の願いと、それを受け継ぎたいという生徒の願いが一致し、村の小中学校では、毎年ふるさと学習の一環として、歌舞伎の発表会や公演が行われています。その結果、卒業生たちが大鹿歌舞伎の舞台に立つようになり、若い担い手たちが育ってきています。

小中学生の体験学習は、地域への誇りと愛着を強め、大鹿歌舞伎を継承していく基盤となっています。



↑4 歌舞伎を演じる小学生と地域の人々(2022年)

化、北海道や千島列島などの先住民族であるアイヌ民族が受け継いできたアイヌ文化があります。ほかにも、地域によって文化の違いがあるなど、日本には多様で豊かな文化があります。

5 伝統文化を受け継ぐ

文化には、異なる文化の影響を受けて変わる部分がある一方で、変わらずに受け継がれる部分もあります。

伝統文化とよばれる能・狂言や歌舞伎、茶道や華道、和服や和食といったものも、昔からのよいものを受け継ぎつつ、新しくよいものを取り入れ、さらによりよいものにしていくことを続けています。伝統とは、過去から現在に受け継ぎ、未来へと引き継いでいくことです。伝統文化のなかには、それらを育ててきた多くの人々の思いと営みが込められています。それらを継承・発展させていくことは、地域社会の人々のつながりを大切にすることや、社会を未来に向けて引き継いでいくことにもつながります。

しかし、近年では、少子高齢化や過疎化の進行、生活スタイルの急激な変化などで、伝統文化の存続が危ぶまれているような地域もあります。そのため、国や地域は文化財保護法に基づき、それら

有形・無形の文化財として保存することに努めています。社会の変化に合わせ、変わる部分と変わらない部分とを調和させながら、文化を引き継ぎ、創造していくことが大切です。



↑5 日本の無形文化遺産(和食) 2003年のユネスコ(→ p.189)総会で無形文化遺産保護条約が採択され、芸能、社会的慣習、祭祀行事、伝統工芸技術などの無形の文化を保護していく枠組みが整えられました。22年11月までに日本からは22件の登録があります。



↑6 日本文化の博覧会(ドイツ) 参加者は漫画やアニメーションの「コスプレ」を楽しんでいます。

確認しよう 日本特有の文化が生まれた背景を、本文から書き出してみよう。

説明しよう あなたが世界に広めたい日本の文化の一つを取り上げ、その理由と方法を説明してみよう。